

藤崎中央小学校



ありがとう

中央小学校 四年

工藤 未久流

「めぐこ、おかえり。」

私のおばあちゃんは認知症で、

忘れてしまふことがたくさんあります。

私の母の先前はなあんだと

聞くと、

「わからねえじゃあ。」

と言うけれど、私のことは覚えて

くれているみたいです。おばあち

やんに笑顔でむかえてもらうと学

校でのつかれもふっとんでしま

し、うれしくなります。

四年生みんなで、さんふじ

を見学することになりました。私

は、この日を心躍らせて待ちどお

しく思っていました。なぜなら、

私のおばあちゃんが通っている老

人ホームだからです。ところが、

その見学の日は、おばあちゃん

行かない日だとわかり、ショック

を受けました。でも、私はおばあ

ちゃんがいともどんなサービスを

受けているのか知りたいので、し

っかり勉強してこようと思いまし

た。

見学の日になりました。私が、

「おばあちゃん、おはよう。私の

事わかる？」

と聞くと、
「わがるよお。」
と笑って言いました。私が、
「今日、おばあちゃんのさんふじ
に行つて勉強してくるよ。」
と言うと、
「いつてらっしゃい。」
と見送つてくれました。
私はさんふじで働いている人の
話を真けんに聞きながら、必死に
メモしました。部屋の名前は、木
鳥、花の名前で分けられているこ
と、ショートステイ、デイサービ
スなどの種類があり、老人ホーム
で家庭のようなサービスを受けら

れることなど、はじめて知ること
ばかりでした。
百ニオのおばあちゃんがいまし
た。私は、私のおばあちゃんも百
ニオや百五オまでも長生きしてば
しいなあと思いました。
さんふじの説明をしてくれた人
が、
「レクリエーションとは、イベン
トや昔の遊びをしたりします。
たまに、みなさんもみなさんの
おじいちゃんおばあちゃんにし
てあげましょう。」
と言われました。私はしてあげて
いるなあと思つてうれしくなりま

した。私は家で、おばあちゃんを遊
 んでいるし、おばあちゃんの昔の
 話を聞いてあげているからです。
 ほめられた気持ちになり、また続
 けてやろうと思いました。さんふ
 じを見学して、いろいろな工夫や
 さんふじで仕事をしている人達の
 やさしさや仕事の内容がわかって
 いい日だったと思いました。学校
 では学ばない事を学びました。
 私のおばあちゃんは、忘れてい
 ることが多いけど、私が生まれて
 きた時のことは、はっきりと覚え
 ているそうです。
 っ、未だ海が、かわいぐっ、かわいぐ

っ、てうれしぐっ、てうれしぐっ、
 のう。え、そうなの。こちらこそ、お
 はあちゃんに会えてうれしい。
 と話ししました。母も
 っ、おばあちゃん、未だ海が、赤ちゃ
 んの時に、おふろに入ってたら、
 のぞきにきて、ニコニコしてた
 なあ。幸せって顔してたなあ。
 と話してくれました。私は、本当
 に私が生まれたことを喜んでくれ
 たんだなあと思いました。
 それでもまた、もぐもぐご飯を
 食べた後に私が、
 っ、おばあちゃん、何食べたの？。

と聞くと、	わすれだじゅあ	と言います。	いろんな事をたくさん忘れても	私の事は覚えていてくれているん	だなあと田舎うと、うれしくておば	あちゃんのことが大好きになりました	す。私の事は、おばあちゃんのように覚えて	てくれるおばあちゃんを大切にし	たいと思います。	ありがとうございますおばあちゃん	いつまでも長生きしてね	私のこと	いつまでも忘れないでね	大好きだよ、おばあちゃん
-------	---------	--------	----------------	-----------------	------------------	-------------------	----------------------	-----------------	----------	------------------	-------------	------	-------------	--------------



私達ができること

中央小学校四年

神ミイヤ

特別養護老人ホームさんふじを

見学してきました。老人ホームで

くらすおじいさんやおばあさんに

会って、どのような生活をしてい

るのか見学したり、話などを聞い

たりしました。この老人ホームで

くらすおじいさんやおばあさんの生

活を助ける『かいご』という仕事

をしている人がいました。かいご

の仕事はとても大変そうでおじ

いさんやおばあさんがご飯を食べ

る時やおふろのお世話、ベッ

ト

から起こす時、車いすや歩く時の

手伝いなどたくさんのをやって

いました。私は大変そうだなと思

いました。が、仕事をしている人達

はいやな顔をしないで、笑顔でお

いさんやおばあさんのお手伝い

をしています、すごいなあと思いま

した。

さんふじには、おじいさんやお

ばあさんがくらす部屋やテレビを

見る部屋、野菜を作る畑もあつて

まるで家でくらすのと同じ生活が

出来て、べんりだなと思いました。

そして、さんふじでくらすおじ

いさんやおばあさんと、ふれあう

時間には、お手玉や折り紙をや
 ました。三角に折って、すきな形
 に切ってひろげると、雪のけし
 ようの形になったので、おばあさ
 んにプレゼントしました。お手玉
 もやたら、とても上手なおばあ
 さんもいて、すごいと思いました。
 そのあと、代表であうかさんが
 ねぶた絵のカレンダーをわたして、
 周作君がお礼の言葉を言いました。
 最後にみんなで、りんごのひ
 とりごと「や、サイギサイギ」
 や「赤とんぼ」を歌いました。さ
 んふじのみなさんが、ここにこし
 ながら聴いてくれて、私はとても

うれしくなりました。
 もう一度、赤とんぼを歌って、
 ようだい。
 と、おばあさんに言われて、私は
 心をこめて歌いました。
 帰る時、おじいさんとおばあさ
 んとあくし「や」をしてバスに乗りま
 した。たくさんの人に、
 「歌が上手だったねえ」
 と言われて、とてもうれしかった
 です。
 おじいさんやおばあさんは、体
 を動かしたり、目が見え
 にくかったり、耳が聞こえづらく
 なったりすると聞きしました。

私も耳が聞こえづらいので、ほ
ちよっきをつけています。だから、
少しはおじいさんやおばあさんの
気持ちがあかるので大きい声では
きりと言ってお話しました。
また、目をつぶって歩いてみた
ら、とてもこわくて、手すりがあ
ると安心なことがわかりました。
体が不自由で大変だけれども、
かいごでお世話をしてくれる人が
いるから、みんなが笑顔でいられ
るんだなと思いました。
私は、おじいさんやおばあさん
が、とても大好きになりました。や
さしくしてあげたいと思いました。

これから日本は、ますます高レ
い化社会になるそうです。私たち
もみんなじょう来はおじいさん
おばあさんになるのです。
だから、おかい人と助け合っ
り、くらしやすいかんきょうを作
っていき、たりしていかないとい
けないと思います。そして、わか
い人たちは、おじいさんやおばあ
さんから経験してきた知恵を学
びたいと思います。
四年生の私が今できることは何
かと考えてみました。私は、おじ
いさん、おばあさんの困っている
ことをわかってあげたり、できる

[illegible]

に	食	か	体	は	く	強	て		見	特									
笑	べ	ま	の	さ	れ	室	く	中	堂	別									
顔	て	な	具	ん	ま	と	れ	へ	に	よ									
に	い	な	合	ぶ	し	い	ま	入	行	う									
な	る	な	に	い	た	う	し	る	き	ご									
れ	人	く	合	に	。そ	場	。そ	と	ま	老									
る	も	て	あ	い	こ	所	し	係	し	人									
レ	い	も	わ	に	で	で	て	の	。係	ホ									
ク	る	も	せ	い	い	い	。係	人	。人	ー									
リ	こ	い	て	る	。あ	ろ	の	が	。人	4									
レ	と	る	お	お	か	い	入	出	。人	さ									
ー	。元	こ	か	年	つ	。教	が	む	。人	ん									
シ	気	め	り	寄	た	え	。た	か	。人	ふ									
ョ		る	は	り	こ	て	。た	え	。人	い									
ン		。元	の	は	と		。た	え	。人	に									

を	リ	次	行	は	個	イ	人	な	そ	は	「	と	リ	そ
し	ま	に	き	さ	室	の	も	エ	し	あ	あ	、	ま	れ
て	し	、	ま	ん	が	場	使	夫	て	ち	い	、	し	か
、	た	さん	じ	ふ	あ	所	い	が	、	ゃ	ー	言	た	ら
楽	。中	さん	の	い	つ	が	や	さ	中	ん	。か	わ	。歩	、
し	を	。中	中	る	。そ	車	す	れ	を	が	あ	れ	け	、
ん	見	を	を	お	の	イス	い	あ	歩	が	い	て	な	、
で	学	見	見	年	の	に	う	る	い	話	い	く	い	、
り	し	学	学	寄	中	乗	に	こ	。と	し	い	。お	。車	、
る	。中	し	し	り	の	っ	。い	と	。お	か	ね	。お	。車	、
こ	。中	に	に	は	ト	て	。い	。お	。お	。ね	。お	。お	。車	、
と	。中	に	に	は	ト	て	。い	。お	。お	。ね	。お	。お	。車	、
が	。中	に	に	は	ト	て	。い	。お	。お	。ね	。お	。お	。車	、
あ	。中	に	に	は	ト	て	。い	。お	。お	。ね	。お	。お	。車	、

イスに、乗ってみました。車イス
 は乗りごちが良くて、とても気
 持ちが良くなりました。また、歩
 けない人たちがおふろに入る時、
 自動で湯に入れるようになってい
 て、ぼくは、びっくりしました。
 そのあと、ぼくは、さんふじの
 お年寄りが集まってる場所へ行
 きました。すると、そこに百四さ
 いの長生きのおじいちゃんがいま
 した。その人に長生きのひけつは
 何かと聞くと、
 「根性で生きてくださいね。」
 と、言っていました。ぼくは、根
 性が大切なんだとわかりました。

また、百さいのおばちゃんもい
 ました。その人は、三年生でなら
 うような問題をどんどん勉強して
 いました。ぼくは、百さいでも勉
 強してすごいなあと思いました。
 おくに行く水道があり、そこに
 も工夫がされていました。それは
 鏡です。鏡が少しなめになって
 いて、車イスに乗っている人が見
 やすいようになっています。
 ホールにもどると、大きい車が
 外にありました。よく見ると、車
 イスが車に乗れるように動く車で
 した。じつさいに動かしてみると、
 本当に車イスが車に運ばれました。

次にブラインドウオークを体験
 してみました。ブラインドウオー
 クは、目かくしをして、棒で、か
 い階が何だんあるかかくにんした
 リ、パートナーがいて、パートナ
 ーが教えたりしてくれます。体験
 してみると、パートナーに心太朗
 君がいてもかなりむずかしかった
 です。

最後に、お年寄りとのふれ合い
 をしました。ぼくは、けん玉がと
 くいなのでけん玉をひろうしまし
 た。あざをしたしけん間、たくさ
 んのはく手が耳にひびきました。

一回練習したら、こううまくな

るんだっけ。

と、言われて、うれしかったであ
 る。そして、お年寄り全員とあく手を
 しました。泣いてあく手ができな
 い人もいました。こんなによろこ
 んでもらえてよかったです。

今回の見学と体験は、貴重なも
 のでした。初めてわかったことが
 たくさんあったし、体の不自由な
 人の大変さや気持ちもわかりまし
 た。さんふいのお年寄りの方々と
 も心が通ったような気がしました。

学校の勉強では学べないことばか
 りで、よい日だったと思いました。

今日の体験を生かして、お年寄

て、背が小さい人や車いすの人も見やすくなっています。
部屋の名前は、お年寄りのみんなが覚えやすいように、木、鳥、花の親しみやすいものにしてあります。私は、よく考えられているなあと感じました。
みなさんは、かいごの種類はどのくらい知っていますか。
特別養老ホームは、日常生活全てにわたって、かいごが必要な方に健こうで快てきな生活ができるようにサービスしています。
ショートステイというのもあり、家でかいごが必要だが、家族が病

気や旅行などでいない時、一時的に、家族の代わりに必要なかいごをするサービスは、日帰りで食事や入浴、リハビリ、レクリエーションなどをうけられるサービスだそうです。
ホームヘルプサービスは、家におじやまして、家事やかいごを行うサービスだそうです。
その人に合ったいろいろなかいごのサービスがあることがわかりました。このおかげで、お年寄りの方も家族も助かる人だなと思いました。

びは、代表的なかいごの仕事と
 しょうかいします。
 一つ目は、食事かい助です。自
 かで作ったり食べたりするのがむ
 ずかしいお年寄りやしょうかい者
 に食事のお手伝いをします。
 ニつ目は、レクリエーションで
 す。歌やゲーム、工作、手芸など
 を行い、楽しみながら手や体や
 心のまのりを回復させます。
 三つ目は、入浴かい助です。体
 をきれいに洗ったり、かみをか
 けたり、着がえのお手伝いをし
 ます。
 四つ目は、コミュニケーション

です。おいろいろおばあちゃん
 から、昔のお話を聞いたり、相談
 ごとを聞いたりしてあげます。
 かいごの仕事の内容がわかって
 体力と笑顔とやさしさが大切だと
 思いました。
 私のおばあちゃんは、浪岡にい
 ます。見学して学んだことを生か
 して、やさしくしてあげたいと思
 います。おばあちゃんば、
 っいっでも遊びにおいでし。
 と言います。私が
 「バイバン、また来るよ。」
 と言うと、笑って見送ってくれま
 す。



さ	
し	近
く	所
し	の
こ	お
あ	年
げ	寄
た	い
い	の
と	人
思	た
い	ち
ま	に
事	も
。	也

